

問1 大正時代、都市部に住む人々の生活が近代化する中で登場した、欧米の建築様式を取り入れて一般向けに建てられた和洋折衷の住宅様式を何とといいますか。（2026年 山口公立入試 類似）

1. 文化住宅                      2. 官営工場                      3. 書院造                      4. 寝殿造

問2 1910年代後半の日本の状況について述べた次の文のうち、1918年に起こった米騒動の背景や結果として正しいものはどれですか。（2017年 愛媛公立入試 類似）

1. シベリア出兵を見越した業者の買い占めで米価が急騰し、その後原敬内閣成立のきっかけとなった。  
2. 日露戦争の講和条約の内容に不満を持った民衆が暴徒化し、警察署などを襲撃した。  
3. 足尾銅山から流出した鉱毒による被害に対し、田中正造が明治天皇に直訴を行った。  
4. 第一次世界大戦による大戦景気が終わった直後の不況により、米の価格が暴落して農村が疲弊した。

問3 1914年から1918年の貿易額の推移をまとめた資料によると、1915年を境に、輸出額が輸入額を上回る状態が続いています。この時期の日本の経済状況や貿易の動向について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 静岡公立入試 類似）

1. 輸出額が輸入額を上回る「輸出超過」の状態となり、未曾有の好景気を迎えた。  
2. 輸入額が輸出額を上回る「輸入超過」の状態となり、深刻なデフレに陥った。  
3. 戦争による海上封鎖の影響で貿易額が著しく減少し、日本は鎖国に近い状態となった。  
4. 輸入額が常に輸出額を上回り続け、対外債務が急速に増加して経済が破綻した。

問4 1911年に平塚らいてうらが結成し、女性の手による文芸雑誌を発行した団体の名称と、その創刊号に寄せられた言葉の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 岡山公立入試 類似）

1. 青鞥社 — 「元始、女性は太陽であった」  
2. 新婦人協会 — 「元始、女性は太陽であった」  
3. 青鞥社 — 「君死にたまふことなかれ」  
4. 新婦人協会 — 「君死にたまふことなかれ」

問5 1925年、加藤高明内閣は普通選挙法を成立させる一方で、ある法律を同時に制定しました。これは、選挙権の拡大による社会主義運動の激化を警戒し、天皇を中心とする国の仕組み（国体）の変革や、私有財産制度の否認を目的とする活動を厳しく取り締まるためのものでした。この法律を何とといいますか。（2015年 岐阜公立入試 類似）

1. 治安維持法                      2. 治安警察法                      3. 国家総動員法                      4. 保安条例

問6 国際連盟の設立時における日本の位置づけについて、その制度的な仕組みや背景を説明したものと正しいものはどれですか。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 第一次世界大戦で主要な戦勝国となった日本は、国際連盟の規約に基づき、地位の入れ替えがない常任理事国として運営に参画した。  
2. 日本は当初オブザーバーとしての参加であったが、後にイギリスやソ連の推薦を受けて常任理事国へと昇格した。  
3. 日本は国際連盟の本部があるニューヨークで、アメリカ、フランス、イタリアとともに四国委員会を組織した。  
4. 当時の日本は、加盟国が約190か国に及ぶ国際連盟の中で、唯一のアジアの非常任理事国として軍縮を提唱した。

問7 1911年に平塚らいてうらが結成し、機関誌の発刊を通じて女性の才能の解放や社会的地位の向上を訴えた、日本で初めての女性による文学結社はどれですか。（2022年 和歌山公立入試 類似）

1. 青鞥社                      2. 新婦人協会                      3. 赤瀬会                      4. 日本婦人有権者同盟

問8 大正デモクラシーの中で政党政治が発達し、1925年に加藤高明内閣によって「普通選挙法」が制定されました。この法律の成立により、選挙権の付与条件はどのように変化しましたか。当時の状況として正しいものを選びなさい。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

1. 直接国税の納税額による制限が撤廃され、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた。  
2. 直接国税を3円以上納めるという制限が維持されたまま、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた。  
3. 性別による制限が撤廃され、納税額に関わらず満20歳以上のすべての男女に選挙権が与えられた。  
4. 直接国税の納税額による制限が撤廃され、満20歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた。

問9 第一次世界大戦の終結後に開かれたパリ講和会議において、世界の平和を維持するための国際組織である「国際連盟」の設立を提案したアメリカの大統領は誰ですか。（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. ウィルソン                      2. レーニン                      3. ルーズベルト                      4. ワシントン

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>文化住宅</b>	大正時代には、大正デモクラシーの影響を受けて個人の生活を重視する傾向が強まり、都市のサラリーマン層を中心に生活の合理化・近代化が進みました。この時期、従来の和風建築に西洋風の応接間などを設けた「和洋折衷」の住宅が登場し、当時の流行語であった「文化」という言葉を冠して呼ばれるようになりました。
問2	<b>答え 1</b> <b>シベリア出兵を見越した業者の買い占めで米価が急騰し、その後の原敬内閣成立のきっかけとなった。</b>	シベリア出兵という軍事行動に伴う需要増を予測した商人の行動が物価高を招き、それが民衆の不満につながりました。この騒動の結果、軍人や官僚主導の政治から、議会に基盤を置く政党内閣へと政治の仕組みが大きく転換することになりました。
問3	<b>答え 1</b> <b>輸出額が輸入額を上回る「輸出超過」の状態となり、未曾有の好景気を迎えた。</b>	1915年から1918年にかけて、日本は輸出額が輸入額を上回る「輸出超過」を記録し、これが「大戦景気」と呼ばれる好景気の原動力となりました。特に造船業、鉄鋼業、化学工業などの重化学工業が飛躍的に発展し、成金と呼ばれる新興富裕層が現れるほどの社会変化をもたらしました。
問4	<b>答え 1</b> <b>青鞞社 — 「元始、女性は太陽であった」</b>	平塚らいてうは、女性の自覚と地位向上を目指して青鞞社を結成し、雑誌『青鞞』を創刊しました。創刊号の冒頭に記された「元始、女性は太陽であった」という言葉は、女性が本来持っていた輝きを取り戻そうとする当時の女性解放運動を象徴するフレーズとして知られています。「君死にたまふことなかれ」は与謝野晶子の詩の一節です。
問5	<b>答え 1</b> <b>治安維持法</b>	普通選挙法の成立は民主主義の大きな一歩でしたが、政府は同時に、ロシア革命などの影響による社会主義や共産主義の広がりを抑え込もうとしました。そのため、国民に権利を与える「アメ」としての普通選挙法と、思想を統制する「ムチ」としての治安維持法をセットで成立させたという因果関係があります。これが後の軍国主義への道程で自由を制限する手段として利用されました。
問6	<b>答え 1</b> <b>第一次世界大戦で主要な戦勝国となった日本は、国際連盟の規約に基づき、地位の入れ替えがない常任理事国として運営に参画した。</b>	第一次世界大戦後のパリ講和会議を経て、日本は世界をリードする「一等国」としての地位を確立しました。国際連盟の制度上、理事会には任期のある非常任理事国のほかに、固定された席を持つ常任理事国が設けられ、日本はイギリス・フランス・イタリアとその地位を分かち合いました。これは日本がアジアで唯一、欧米諸国と並んで世界のリーダーシップを握っていた時代背景を反映しています。
問7	<b>答え 1</b> <b>青鞞社</b>	平塚らいてうらは、それまでの「良妻賢母」を理想とする社会規範に対し、女性が本来持っている能力や個性を発揮することを目指してこの団体を設立しました。機関誌『青鞞』は、女性の手による新しい文学や思想の発信地となり、大正デモクラシー期における女性解放運動の先駆けとなりました。
問8	<b>答え 1</b> <b>直接国税の納税額による制限が撤廃され、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた。</b>	1925年の普通選挙法以前は、選挙権を得るために一定額以上の直接国税（当初は15円以上、のちに3円以上に引き下げ）を納める必要がありましたが、この法律によって納税額による制限が完全に撤廃されました。ただし、選挙権が与えられたのは「満25歳以上の男子」に限定されており、女性に参政権が認められるのは第二次世界大戦後の1945年のことです。
問9	<b>答え 1</b> <b>ウィルソン</b>	アメリカのウィルソン大統領は、第一次世界大戦中に発表した「十四か条」の中で、国際紛争を平和的に解決するための組織作りを提唱しました。これに基づいて、1920年に世界初の国際平和維持組織である国際連盟が発足しました。選択肢にあるレーニンは、ロシア革命を指導した人物です。